がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	СНОР
診療科名	血液·腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	非ホジキンリンパ腫
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄				
登録番号	NHL-003			
登録日•更新日	2011年4月25日登録 2020年12月21日改訂			
削除日				
出典	N Engl J Med 1998;339:21-26			
入力者	湯山 聡			

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	シクロホスファミド水和物 (注射用エンドキサン)	100mg、500mg	750mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	1時間	day1
	生理食塩液	500 mL				
No.2	ドキソルビシン塩酸塩 (ドキソルビシン塩酸塩注射液)	10mg、50mg	50mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	bolus	day1
	生理食塩液	100 mL				
No.3	ビンクリスチン硫酸塩 (オンコビン注射用)	1mg	1.4mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	bolus	day1
	生理食塩液	100 mL				
No.4	プレドニゾロン	5mg	100mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(内服)	内服	day1−5

1コースの期間	21日	
投与間隔の短縮規定	□短縮可能(日) · ■短縮不可能	
計算後の投与量上限値	110%	
計算後の投与量下限値	50%	
減量·中止基準	神経毒性の程度に応じてビンクリスチンを中止する	
前投薬	5-HT3受容体拮抗薬	
その他の注意事項	・ペントスタチンを併用しないこと ・ピンクリスチンの1回最大投与量は2mg/body ・放射線併用時は3コース施行 単独時は6~8コース施行 ・ビンクリスチンの投与前日から投与翌日までの3日間はイトラコナゾールを中止する ・ドキソルビシンの最大総投与量は500mg/m ²	

記入者	湯山 聡
確認者	竹内 正美